

国際シンポジウム

民博所蔵

古音盤に聴く

東アジアの

声と楽器

2010年

2月11日(木・祝)

国立民族学博物館 講堂

当日先着順

事前申し込みは必要ありません

■主催 人間文化研究機構

国立民族学博物館



34389 a

A 1145 a

鋼針

法新製

上海

代百

司公



Viva-tonal

Recording

Columbia

ELECTRICAL  
PROCESS

南管清曲

日 當 想 回

(段 頭)

伶女家儒名著門厦

霞 彩

15003-A

(A 669)



大学共同利用機関法人人間文化研究機構  
国立民族学博物館



大学共同利用機関法人  
人間文化研究機構

国際ワークショップ  
歴史的音盤の  
アーカイブ  
～展望と課題

2010年  
2月12日(金)

国立民族学博物館  
2階第4セミナー室

参加ご希望の方は、電子メールにて  
左記アドレスまでお申し込みください  
fken@idc.minpaku.ac.jp

■主催 人間文化研究機構

## シンポジウム

# 民博所蔵古音盤に聴く 東アジアの声と楽器

大正から昭和初期にかけて、日本ではレコードが急速に普及し、レコードを通じて音楽が生み出され、楽しめるようになりました。同じ時期、日本が勢力下におさめた東アジアの各地においても、日本のレコード会社が現地社会に向けたレコードを制作販売しました。この時期の東アジアの音楽の動向は、こうしたレコードを抜きにして考えることができません。

現在、国立民族学博物館には、日本コロムビアが制作したこれらのレコードの金属原盤が所蔵されています。このシンポジウムでは、そこに録音された音を紹介しながら、日本の会社がつくったレコードを通して、当時の東アジアの音楽がどのように展開していったのかを考えます。

なお、このシンポジウムは、人間文化研究機構連携研究「日本コロムビア外地録音のディスコグラフィック的研究」の研究成果公開の一環として開催するものです。

■開催日時…………… 2010年2月11日(木・祝) 13:00~16:30(開場12:30)

■開催場所…………… 国立民族学博物館 講堂 (定員450名)

■参加方法…………… 参加無料。当日先着順。事前申し込みは必要ありません。

■お問い合わせ…………… 国立民族学博物館 福岡研究室  
e-mail : fken@idc.minpaku.ac.jp  
fax 06-6878-7503 tel 06-6878-8351

■主 催…………… 人間文化研究機構  
国立民族学博物館

## ワークショップ

# 歴史的音盤のアーカイブ~展望と課題

このワークショップは、現在、国内外で進められている歴史的音盤のアーカイブ化の事例について情報交換を行い、その展望と課題について検討することを目的としています。20世紀の音楽文化の展開において、レコードは大きな役割を果たしました。近年、そうした歴史的音盤のデジタル・アーカイブを構築する試みが盛んになってきています。ところが、そこには、技術的な問題に加えて、著作権など、乗り越えるべき多くの問題があり、公開には様々な制限が課される場合があります。また、企業、学術研究機関、市民サービスを目的とする公的機関など、立場によって、アーカイブ化と利用への考え方の違いも見られます。このワークショップを通じて、こうした限界や考え方の違いを明らかにしつつ、デジタル・アーカイブ構築とアーカイブ間の協力関係の深化に必要なものを考えてみたいと思います。

人間文化研究機構では、連携研究「日本コロムビア外地録音のディスコグラフィック的研究」において、大正から昭和初期にかけて、台湾、朝鮮、上海等において、日本コロムビア株式会社が制作販売したSPレコードのデータ作成を進めてきました。その成果の一部は『日本コロムビア外地録音ディスコグラフィック 台湾編』、『同 朝鮮編』、『同 上海編』として刊行されています。今後さらに研究を深めていくためには、国立民族学博物館が所蔵する金属原盤データや複製音源の公開などを進めていく必要があります。このような見地にたち、このワークショップを企画いたしました。

■開催日時…………… 2010年2月12日(金) 11:00~18:00

■開催場所…………… 国立民族学博物館 2階 第4セミナー室 (定員50名)

■参加方法…………… 参加無料。参加ご希望の方は、電子メールにて、下記アドレスまでお申し込みください。  
fken@idc.minpaku.ac.jp

■お問い合わせ…………… 国立民族学博物館 福岡研究室  
e-mail : fken@idc.minpaku.ac.jp  
fax 06-6878-7503 tel 06-6878-8351

■主 催…………… 人間文化研究機構



大学共同利用機関法人人間文化研究機構  
国立民族学博物館



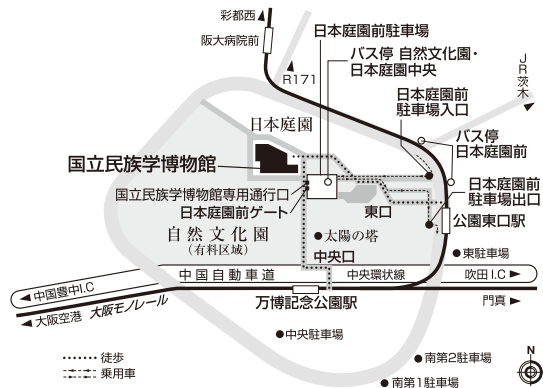
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 電話:06-6876-2151  
http://www.minpaku.ac.jp/

## PROGRAM プログラム

- 13:00 開会の辞  
須藤健一 (国立民族学博物館館長)
- 13:10 国立民族学博物館所蔵  
日本コロムビア外地録音資料について  
福岡正太 (国立民族学博物館)
- 13:20 基調講演「レコードが結ぶ東アジアの歴史」  
細川周平 (国際日本文化研究センター)
- 14:00 報告「音盤に刻まれた声と楽器  
~台湾、朝鮮、上海」  
王櫻芬 (国立台湾大学)  
山内文登 (国立台湾大学)  
尾高暁子 (東京藝術大学)
- 15:30 パネルディスカッション  
「音盤に東アジアの音楽文化史を聴く」  
細川周平  
王櫻芬  
山内文登  
尾高暁子  
劉麟玉 (民族音楽学者)  
司会 福岡正太
- 16:30 終了

## PROGRAM プログラム

- 11:00 趣旨説明 福岡正太 (国立民族学博物館)  
民博所蔵日本コロムビア外地録音資料と  
そのアーカイブ状況について  
福岡正太  
今田健太郎 (京都市立芸術大学)
- 13:00 日本における歴史的音盤アーカイブ構築の進展  
原田久義 (国会図書館関西館)  
藤本草 (歴史的音盤アーカイブ推進協議会・日本伝統文化振興財団)  
斉藤徹 (コロムビアミュージックエンタテインメント)
- 16:00 台湾と韓国における歴史的音盤アーカイブ化の試み  
黄均人 (国立台湾師範大学)  
ペ・ヨンヒョン (東国大学校(韓国))
- 18:00 終了



- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車 徒歩約15分
- 阪急茨木駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園」下車徒歩約15分  
(茨木方面から、自然文化園・日本庭園中央経由のバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせ下さい。)
- 自家用車の場合は万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れます。
- 「日本庭園前駐車場」を利用される方は、「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお知らせください。
- シンポジウム・ワークショップのみ参加される方は、自然文化園を通行される場合、入園料が必要となります。ただし、常設展をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば、無料で通行できます。
- 「公園東口駅」からは、自然文化園を通行せずに来館できます。